

西別岳



阿寒摩周国立公園

西別岳

西別岳は摩周湖の南東に位置する標高799mの低山で、登り約1時間30分、下り約1時間ほどの手軽な登山道です。半日で登山できるうえ、花も多く見られることから地元の人や登山愛好家からも親しまれています。

川湯エコミュージアムセンターから西別岳登山口までは車で約1時間30分。国道391号線と国道243号線を経由して北25号線に入り、「西別岳登山道」の看板を目印に農道・林道を進みます。林道を進んだ先には登山口と西別小屋があり、トイレも整備されています。

また、中標津町からも道道150号線より林道を経由して登山口へ行くことができます。

西別小屋→西別岳頂上

入林届に記入してカラマツ林の中の緩やかな坂を登っていくと、視界が開けていき、通称「がまん坂」と呼ばれる坂に入ります。約400mほど直登するため、一番の難所ですが、登り切った後を振り返ると防風林で囲まれた北海道らしい広大な牧草場が広がっています。

がまん坂を越えれば、あとはほぼ緩やかなお花畑や尾根伝いを通って山頂へ。頂上からは裏摩周側の摩周岳と摩周湖が一望でき、天気良ければ遠くには雄阿寒岳や雌阿寒岳、知床の山々や、国後島までも見ることができる大パノラマが広がります。西別岳から摩周岳を経由して摩周湖第1展望台まで縦走するのもまた気持ちがいいです。

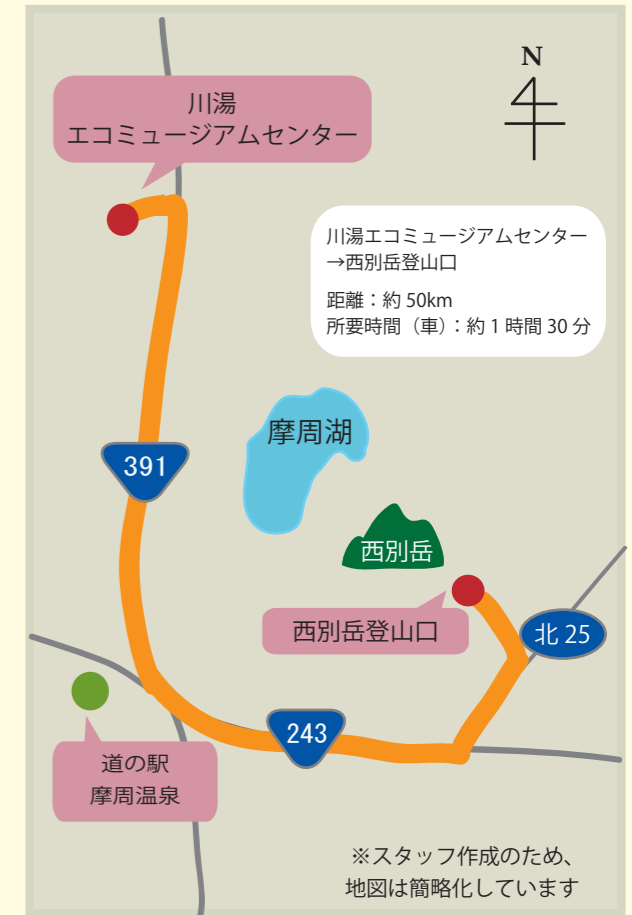
お花畑

西別岳が人気の理由は、360度の眺望だけではありません。標高799mほどと比較的低い山ながら、高山性の植物が多く、西別岳の特殊性をうかがうことができます。

登山道沿いには第一から第三までお花畑があり、春にはチシマザクラやユキワリコザクラ、夏にはエゾツツジやヒオウギアヤメ、秋にはヤナギタンポポやエゾオヤマリンドウなど登山者の目を楽しませてくれる色とりどりのお花が咲き誇ります。

貴重な植生に加え、阿寒摩周国立公園の第1種特別地域でもあることから環境省では過去に荒廃した植生の回復事業などを行っています。また、地元山岳会などの尽力により、外来種の駆除活動や登山道の整備などが行われています。

西別岳登山口へのルート



川湯エコミュージアムセンター



開館時間

4月～10月 8:00～17:00
11月～3月 9:00～16:00

休館日

毎週水曜日(7月第3週～8月31日は無休、水曜祝日の際は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
入館料 無料

088-3465

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2-2-6

TEL 015-483-4100

FAX 015-483-4111

URL <http://www.kawayu-eco-museum.com/>

西別岳で見られる花



チシマザクラ
(4～5月)



ガンコウラン
(5～7月)



ハクサンチドリ
(6～7月)



エゾツツジ
(6～8月)



ミヤマオダマキ
(6～8月)



ヤナギタンポポ
(8～9月)



ユキワリコザクラ
(5～6月)



コケモモ
(6～7月)



イソツツジ
(6～7月)



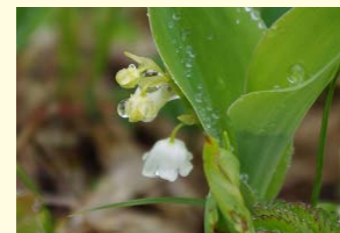
チシマフウロ
(6～8月)



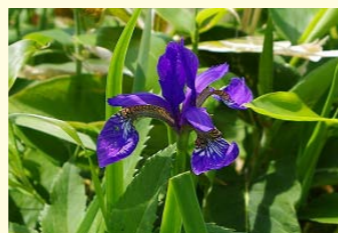
クロバナハンショウヅル
(6～8月)



エゾトリカブト
(8～9月)



スズラン
(5～6月)



ヒオウギアヤメ
(6～7月)



ヨツバシオガマ
(6～8月)



オトギリソウ
(6～8月)



ウメバチソウ
(8～9月)



エゾオヤマリンドウ
(9～10月)